

平成 30 年 8 月 1 日
観測部
地球環境・海洋部

7月の天候

2018年(平成30年)7月の日本の天候は、月平均気温が北・東・西日本でかなり高くなりました。降水量は北日本日本海側と西日本太平洋側および沖縄・奄美でかなり多くなりました。日照時間は東日本と西日本日本海側でかなり多くなりました。

2018年(平成30年)7月の天候の特徴は以下のとおりです。

北・東・西日本では気温がかなり高かった
太平洋高気圧の勢力が日本付近で強かったため、北・東・西日本では月平均気温がかなり高く、東日本では、7月として1946年の統計開始以来第1位、西日本では第2位の高温となった。また、23日には熊谷(埼玉県)で日最高気温が41.1となり、歴代全国1位を更新した。

「平成30年7月豪雨」が発生
梅雨前線や台風第7号の影響で、西日本を中心に全国的に記録的な大雨となり、「平成30年7月豪雨」が発生した。また、北日本日本海側と西日本太平洋側および沖縄・奄美で、月降水量がかなり多かった。

東日本と西日本日本海側では日照時間がかなり多かった
東日本と西日本日本海側では、太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、月間日照時間はかなり多かった。東日本日本海側の月間日照時間は、7月として1946年の統計開始以来第1位の多照となった。

別紙(概況、統計値等)[PDF形式:360KB]

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko1807_besshi.pdf

問合せ先：観測部 計画課情報管理室 担当 青木(観測値や記録について)
電話 03-3212-8341(内線4154) FAX 03-3217-3615
地球環境・海洋部 気候情報課 担当 竹川(天候の解説について)
電話 03-3212-8341(内線3154) FAX 03-3211-8406